［様式２－１］

作成課　　市民協働推進課

令和元年度　施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称		地域利用施設　美座会館			
所在地		宝塚市美座2丁目10番1号			
指定管理者	団体名	美座会館管理運営委員会	指定期間	開始日	平成 28 年 4 月 1 日
	所在地	宝塚市美座2丁目14番13号		終了日	令和 3 年 3 月 31 日
選定方法		非公募	評価実施年		指定期間 5 年のうち 3 年目
施設設置目的		地域社会における市民相互の交流及び相互扶助並びに市民の主体的な学習活動等を促進し、連帯感のある新しいコミュニティづくりに資するため			
主な実施事業		会館管理運営事業			

2 利用状況（目標と実績）

成果指標		単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用回数	回		1,750		1,928		1,487		1,322
b	稼働率	%		32.5		35.9		27.5		24.5
c										
d										
e										

3 指定管理業務にかかる収支状況

（単位：千円）

区　分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度予算
収入計	A	2,904	2,747	2,854	2,383	2,492
指定管理料		236	236	236	236	239
利用料収入	C	2,467	2,285	2,111	1,954	1,800
自主事業収入		180	204	222	162	190
その他		21	22	285	31	263
支出計	B	2,690	2,525	2,854	3,021	2,492
指定事業費		2,690	2,525	2,854	3,021	2,492
内、人件費	D	0	170	225	225	225
内、再委託料	E	364	308	285	319	100
自主事業費		0	0	0	0	0
事業収支	A−B	214	222	0	(638)	0
利用料金比率	C/A	85.0%	83.2%	74.0%	82.0%	72.2%
人件費率	D/B	0.0%	6.7%	7.9%	7.4%	9.0%
再委託費比率	E/B	13.5%	12.2%	10.0%	10.6%	4.0%

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
・着色セルは、自動計算としている。
・事業費は、前年度以前の決算を記載する。また、最右欄には、今年度予算を記載する。

補足説明	

4 評価

注）自己評価・・・指定管理者　所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	法例に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	A	A
② サービスの質の評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者に提供するサービスの質の水準を評価する。	A	A
③ サービスの安定性の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	A	A
指定管理者所見（成果、課題等）	会館の扉、引き戸、壁紙、及び机の修理や庭園の低木の剪定とベンチ15台の塗り替え、花の植え替えを行い、防犯に於いてもカメラ設置の表示をしています。		
施設所管課所見（成果、課題等）	会館の管理において、従前から、指定管理者にて積極的に樹木の剪定や花壇の整備、小修繕、建物内の装飾等が行われています。また、電灯のLED化も管理者にてすべて行われました。一方、利用率の向上に向けても、会館独自のイベント「会館まつり」を開催し、会館の周知・集客を図るなど工夫されており、周辺住民にとって重要な施設となっています。また、利用団体の登録制を導入し、清掃等も登録団体の協力を得て一緒に行うなど地域と一体化した運営がなされています。		
前年評価	A	**総合評価**	A

※評価区分

評価基準：　A（優良）　＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
　　B（良好）　＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
　　C（要改善）＝ 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。

総合評価：　A（優良）　＝ 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
　　B（良好）　＝ 優良、要改善以外の評価
　　C（要改善）＝ 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。